



ことしば



3月号

【学校教育目標】 「挑戦し、未来を拓く『琴芝っ子』の育成」



子どもたちの小さな成長を喜ぶ



琴ライオン

あっという間に2月も過ぎ、早3月となりました。昨年から1年あまり、新型コロナウイルスに悩まされてきました。ようやくワクチン接種が始まり、感染拡大の収束に向かっていくことを願うばかりです。

さて、その新型コロナウイルスによって、この1年間、これまでとは全く異なる学校運営を余儀なくされました。入学式・始業式からまもなく一斉休校。再開したのは5月末です。再開後も、最優先は新型コロナウイルスの感染防止対策です。そのため、様々な活動に制限が設けられました。

そのような中、今年度から学習指導要領が改訂され、新しい教育課程が始まりました。「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて地域と連携・協働した教育活動を充実させ、子どもたちが未来の創り手となるために必要な力を育てることがねらいです。具体的には、英語(5, 6年生)・外国語活動(3, 4年生; 宇部市では1年生~)やプログラミング教育が始まりました。また、宇部市では小中一貫教育が始まり、中学校までの9年間を通して学校、家庭、地域が連携・協働して子どもたちを育てる仕組みも一層強化されました。本校でも、プログラミング教育のこれまでの取組を県内の学校に向けて公開し、子どもたちの新しい学びの姿に高い評価を受けました。さらに、小中一貫教育・地域連携教育の取組として、小中合同の「あいさつ運動」「環境美化作業」が実現しました。「NOメディア週間」も定着してきました。9年間の「学習の手引き」や各学校のマスコットキャラクター、小中一貫のシンボルマークもできました。このように、新型コロナウイルス感染防止対策をとり、様々な制限をされながらも、保護者、地域の方に支えられて、確実な歩みを進め、子どもたちは日々成長しています。しかし、人は日常的に接していればいるほど、わずかな変化に気づきにくいものです。ぜひ、小学校入学当時のあるいは今年度当初(4月)の子どもたちと比べてみてください。心も体も、なんと大きく成長したものだろうということに気づき、微笑ましくなるはずです。



2分の1成人式

6年生はあと19日で小学校を巣立っていきます。他の学年の子どもたちもそれぞれ新しい学年に進級します。子どもたちの小さな変化、成長を見逃すことなく、しっかりと認め、その頑張りをほめて伝えることが、自信と意欲につながり、新たな課題に挑戦する力が湧いてくるのではないかと思います。

🌻🌻🌻🐟🐟🐟 **1年間、ありがとうございました** 🌻🌻🌻🐟🐟🐟

保護者、地域の皆様方には、本校の教育活動に対し、ご理解とご支援、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。子どもたちが自信と希望をもって進級・進学できるように、教職員一同「チーム琴芝」で、最後までしっかり支援していきたいと思っております。1年間、ありがとうございました。来年度も引き続きよろしくお願いたします。



校長のつぶやき

すばらしい出会いに感謝

『人の世の幸せは、人と人が会うことから始まる』(相田みつを)という詩があります。私ももうすぐ6年生とともに38年間の教員生活を卒業します。この間、思い出すだけでも赤面するような失敗談は山ほどあります。それでも、たくさんの人との出会いによって、支えられ助けられながら何とか今日まで勤めあげることができました。◆学生時代『金八先生』のドラマが好きで欠かさず見ていました。『人』という漢字は、人と人が支え合っている姿を文字にしたもの(象形文字)だという金八先生の授業中の言葉がずっと印象に残っています。人は一人では生きられません。苦しいこと、悲しいこと、うれしいこと、楽しいこと、これらは相手がいるから、関わりがあるからこそ感じられるものです。◆これからICT社会になっても『密』(人と人との関わり)は人が成長する上でなくてはならないものだと思います。『3密回避』で出会いが制限された世の中だからこそ、一つ一つの出会いを大切にしたいものです。◆今回で『校長のつぶやき』も最終回となりました。皆様との出会いに感謝、感謝です。ありがとうございました。 <了>